

令和5年度決算に基づく経営指標の状況について

公共下水道事業(浜田処理区)は供用開始前のため、流動比率にのみ数値が反映されています

1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率(%) = (経常収益/経常費用) × 100 (税抜き)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
経常収益(千円)	511,901	488,454	498,635	10,181	
経常費用(千円)	513,842	488,409	471,421	▲ 16,988	
経常収支比率(%)	99.62%	100.00%	105.77%	5.77%	104.54%

※特環…特定環境保全公共下水道(国府、旭、三保三隅)

② 流動比率(%) = (流動資産/流動負債) × 100 (税抜き)

	R3	うち特環※	R4	うち特環※	R5	うち特環※	前年度比	うち特環※	参考 類似団体平均 (R4特環※)
流動資産(千円)	85,221	75,477	63,026	54,986	69,933	61,644	6,907	6,658	
流動負債(千円)	433,525	432,902	458,995	457,856	408,733	407,814	▲ 50,262	▲ 50,042	
流動比率(%)	19.65%	17.44%	13.73%	12.01%	17.10%	15.12%	3.37%	3.11%	44.25%

③ 経費回収率(%) = (下水道使用料/汚水処理費(公費負担分を除く)) × 100

(税抜き)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
下水道使用料(千円)	108,596	102,779	97,347	▲ 5,432	
汚水処理費(公費負担分を除く)(千円)	152,430	153,477	154,332	855	
経費回収率(%)	71.24%	66.97%	63.08%	▲ 3.89%	73.78%

2. 老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率(%) = (減価償却累計額/償却資産) (税抜き)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
減価償却累計額(千円)	5,521,664	5,898,981	6,186,249	287,268	
償却資産(千円)	12,962,678	13,228,100	13,231,682	3,582	
有形固定資産減価償却率(%)	42.59%	44.59%	46.75%	2.16%	28.00%

② 管路老朽化率(%) = (法定耐用年数経過管路延長/管路延長)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
法定耐用年数経過管路延長(km)	0.00	0.00	0.00	0.00	
管路延長(km)	95.00	101.00	102.00	1.00	
管路経年化率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%

令和5年度決算に基づく経営指標の状況について

公共下水道事業(浜田処理区)は供用開始前のため、流動比率にのみ数値が反映されています

1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率(%) = (経常収益/経常費用) × 100 (税抜き)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
経常収益(千円)	511,901	488,454	498,635	10,181	
経常費用(千円)	513,842	488,409	471,421	▲ 16,988	
経常収支比率(%)	99.62%	100.00%	105.77%	5.77%	104.54%

※特環…特定環境保全公共下水道(国府、旭、三保三隅)

② 流動比率(%) = (流動資産/流動負債) × 100 (税抜き)

	R3	うち特環※	R4	うち特環※	R5	うち特環※	前年度比	うち特環※	参考 類似団体平均 (R4特環※)
流動資産(千円)	85,221	75,477	63,026	54,986	69,933	61,644	6,907	6,658	
流動負債(千円)	433,525	432,902	458,995	457,856	408,733	407,814	▲ 50,262	▲ 50,042	
流動比率(%)	19.65%	17.44%	13.73%	12.01%	17.10%	15.12%	3.37%	3.11%	44.25%

③ 経費回収率(%) = (下水道使用料/污水处理費(公費負担分を除く)) × 100

(税抜き)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
下水道使用料(千円)	108,596	102,779	97,347	▲ 5,432	
污水处理費(公費負担分を除く)(千円)	152,430	153,477	154,332	855	
経費回収率(%)	71.24%	66.97%	63.08%	▲ 3.89%	73.78%

2. 老朽化の状況

① 有形固定資産減価償却率(%) = (減価償却累計額/償却資産) (税抜き)

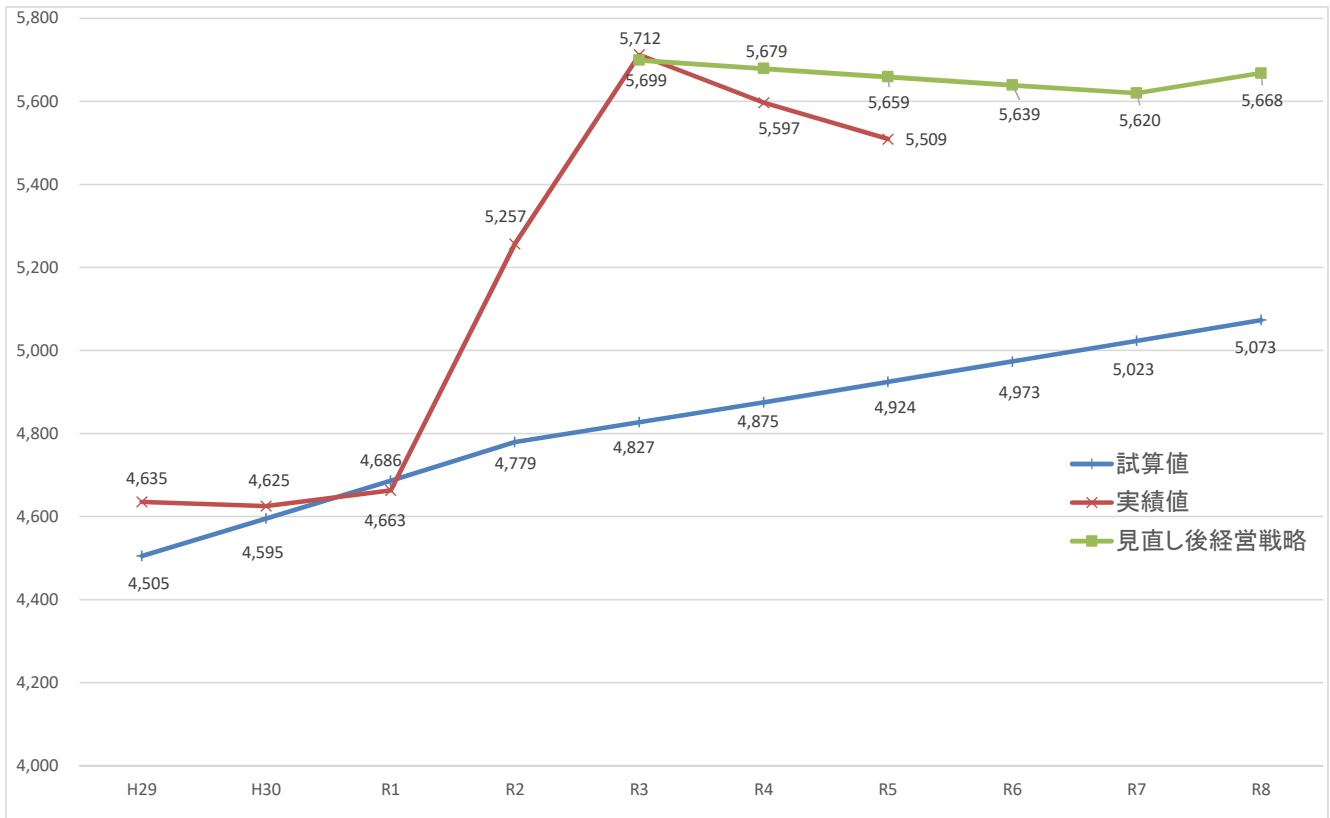
	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
減価償却累計額(千円)	5,521,664	5,898,981	6,186,249	287,268	
償却資産(千円)	12,962,678	13,228,100	13,231,682	3,582	
有形固定資産減価償却率(%)	42.59%	44.59%	46.75%	2.16%	28.00%

② 管路老朽化率(%) = (法定耐用年数経過管路延長/管路延長)

	R3	R4	R5	前年度比	参考 類似団体平均 (R4特環※)
法定耐用年数経過管路延長(km)	0.00	0.00	0.00	0.00	
管路延長(km)	95.00	101.00	102.00	1.00	
管路経年化率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%

経営戦略の試算値と令和5年度決算数値の比較について

公共下水道接続人口の推移試算及び実績



公共下水道接続人口の推移試算及び実績

単位: 人

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	4,505	4,595	4,686	4,779	4,827	4,875	4,924	4,973	5,023	5,073
実績値	4,635	4,625	4,663	5,257	5,712	5,597	5,509			
増減	130	30	▲ 23	478	885	722	585			

見直し後経営戦略					5,699	5,679	5,659	5,639	5,620	5,668
実績との差					13	▲ 82	▲ 150			

- 令和3年度実績の接続人口は、経営戦略の試算値と比べて、885人（18.3%増）となりました。
- 令和4年度実績の接続人口は、経営戦略の試算値と比べて、722人（14.8%増）となりました。
- 令和5年度実績の接続人口は、経営戦略の試算値と比べて、585人（11.9%増）となりました。
- 令和5年度の接続人口は、前年度よりも88人減少し、減少率は1.6%となっています。
- 接続人口の減少は、中国電力株式会社三隅発電所2号機建設工事の竣工に伴う工事関係者の入込数減及び人口減少の影響によるものです。また、見直し後の経営戦略とは150人（2.7%）の乖離が生じています。

経営戦略の試算値と令和5年度決算数値の比較について

下水道使用料の推移試算及び実績(税込み)



使用料収益の推移試算及び実績

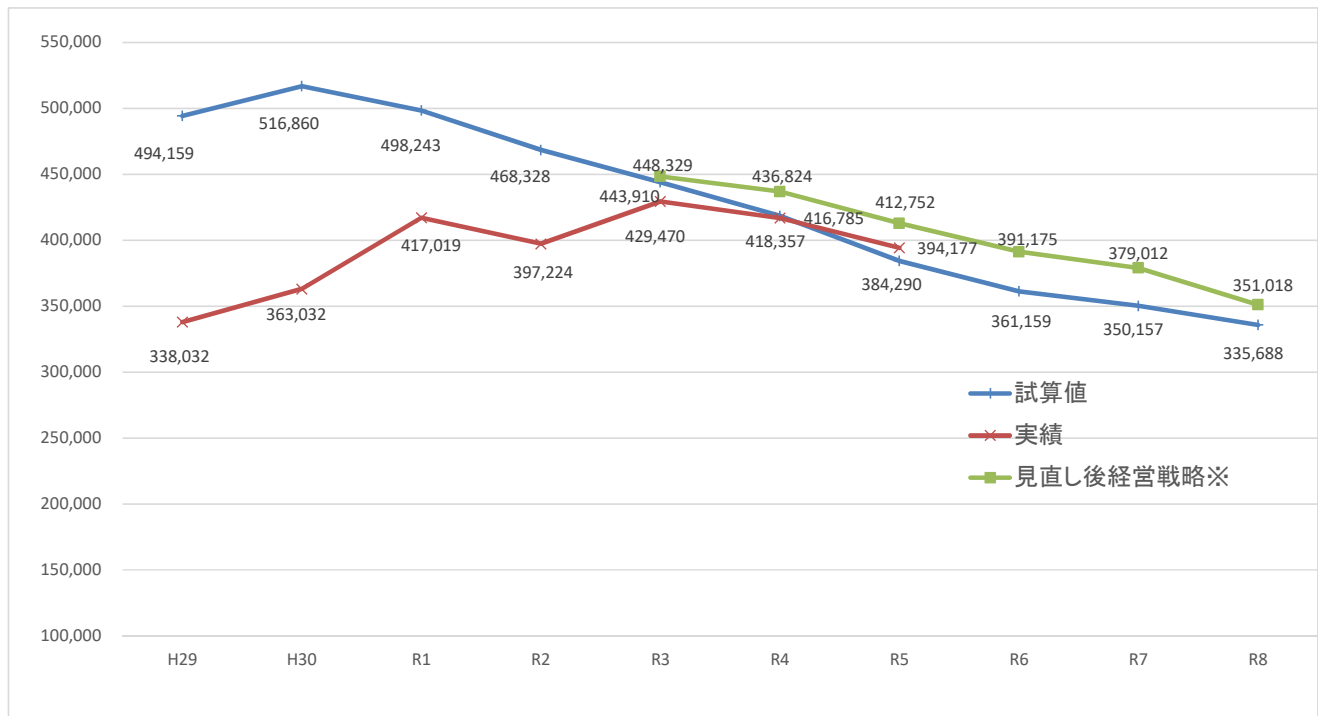
単位:千円,税込み

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	86,778	88,513	91,119	93,794	95,669	96,625	97,591	98,566	99,551	100,546
実績	91,960	91,630	95,326	107,925	119,453	113,054	107,079			
増減	5,182	3,117	4,207	14,131	23,784	16,429	9,488			
見直し後経営戦略					117,165	119,773	114,879	115,993	115,626	115,049
実績との差					2,288	▲ 6,719	▲ 7,800			

- ・平成29年3月に策定した経営戦略では、国府処理区整備事業による増額、及び平成31年10月以降は消費税率10%への改定を見込んだ使用料収益試算をしています。
- ・消費税改定については令和元年12月調定分からとなりました。
- ・令和5年度の実績値は、中国電力株式会社三隅発電所2号機建設工事の竣工に伴う工事関係者の入込数減及び事業者の廃業等により、経営戦略試算値に比べ下振れています。
- ・見直し後の経営戦略値については、集落排水施設の公共下水道事業への一部統合、令和8年度の浜田処理区一部供用開始による使用料増を見込んでいます。

経営戦略の試算値と令和5年度決算数値の比較について

一般会計繰入金の推移試算及び実績



一般会計繰入金の推移試算及び実績

単位: 千円/年

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
試算値	494,159	516,860	498,243	468,328	443,910	418,357	384,290	361,159	350,157	335,688
実績	338,032	363,032	417,019	397,224	429,470	416,785	394,177			
増減	▲ 156,127	▲ 153,828	▲ 81,224	▲ 71,104	▲ 14,440	▲ 1,572	9,887			

見直し後経営戦略※					448,329	436,824	412,752	391,175	379,012	351,018
うち財源不足額					0	0	202,428	180,042	170,211	139,858
実績との差					▲ 18,859	▲ 20,039	▲ 18,575			

※見直し後経営戦略に計上したR6以降の数値には、財源不足に対する補填必要額を加算しています。

- ・平成29年度～令和2年度までの試算値との乖離要因は、主に試算値では見込んでいなかった資本費平準化債の借入を行ったことによるものです。
- ・令和3年度の繰入金額は、前年度よりも32,246千円増加し、増加率は8.1%となりました。
- ・令和4年度の繰入額は、前年度よりも12,685千円減少し、減少率は3.0%となっています。
- ・令和5年度の繰入額は、前年度よりも22,608千円減少し、減少率は5.4%となっています。
- ・繰入金額の対前年度比減の主要因としては、昨年度に比べ繰入金を財源とする企業債償還額が減となったことが挙げられます。